



発行所
山形新聞社
山形市旅籠町2-5-12
電話 代表023(622)5271
Copyright (c) 2012
Yamagata Shimbun

2012年
6月6日
〈水曜日〉

電
速
報
版
子

購読申し込み
(9-17時)

0120-81-8040

やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

寛仁さま逝去

がん手術
繰り返し
「ひげの殿下」
66歳



三笠宮寛仁さま

三笠宮家の長男寛仁（ともひと）さまが6日午後3時35分、東京都千代田区の佐々木研究所付属杏雲堂病院で亡くなられた。66歳だった。住まいは東京・元赤坂の赤坂御用地内にある寛仁親王邸。宮内庁が葬儀の日取りや場所などを検討する。

天皇陛下のいとこで、「ひげの殿下」として知られた。皇位継承順位は第6位だった。寛仁さまの死去により、天皇陛下と皇族で構成される皇室は22人になった。

1991年に食道が

寛仁さま 1946年1月5日、4人兄弟だった昭和天皇の末弟、三笠宮崇仁（たかひと）さまの第1男子として生まれた。学習院大法学部を卒業後、68〜70年に英オックスフォード大に留学。帰国後、札幌五輪組織委員会事務局や沖縄国際

海洋博覧会世界海洋青年大会事務局に勤務した。恩賜財団済生会、友愛十字会、日本・トルコ協会などの総裁を務めた。妻は吉田茂元首相の孫で麻生太郎元首相の妹、信子さま。子どもは彬子（あきこ）さま、瑠子（ようこ）さまの2女。

自らの治療体験を著作や講演で公表。患者本人ががんを勉強することや、医師に意思表示することの重要性を訴えた。82年には「社会活動に専念したい」と皇籍離脱を申し出て、話題になった。

2005年11月に政府の「皇室典範に関する有識者会議」が出した女系天皇容認の結論に「男系が続いてきた皇室の伝統に反する」と雑誌などに答え、異議を唱えた。

んを切除する手術を受けて以降、喉や舌のがん治療に伴う手術を繰り返した。昨年12月に入院し、今年3月にかけて2回手術後、入院療養を続けていた。福祉活動やスポーツ振興に取り組み一方、